大仙市立太田南小学校　学校報

あかまつ

令和３年度
第14号
令和３年５月28日

《学校教育目標》夢に向かって 本気で チャレンジ！ 笑顔の花さく 南っ子

横沢曲がりねぎを植えました

５月 26 日（水），３・４年生が，学校の畑で曲がりねぎの栽培作業をしました。

今年度も，地域の農家の方々や農業振興情報センターの皆さんからご指導やご協力をいただきました。ありがとうございます。

伝統野菜とはどういうものかを教わったあとは，いよいよ作業開始です。４年生はねぎ坊主の取り方を教わり，手首をひねりながら上手に取っていました。ねぎ坊主を取ることで新しい芽がまた出てくるからだそうです。また，３年生は，細い苗を優しく丁寧に土に横たえてから，「おおきくなあれ」と根元に土をかぶせました。

横沢曲がりねぎはこの横沢地区で江戸時代からずっと受け継がれている伝統野菜です。佐竹の殿様がこの地に狩りに来たときに，本陣だった倉田家で厚いもてなしを受けて，感謝の印に水戸からもってきた種を伝えたと言われています。江戸後期の紀行家菅江真澄が「横沢ねふか（ねぎ）うまし」と書き記していますから，少なくとも 220 年はその種を途絶えることなく受け継いでいるということです。（もしかしたら 400 年？）

その 220 年（もしかしたら 400 年）のうち，10 年近くをこの太田南小学校でも育てているという事実に驚いています。伝統の一部になりつつあることを感じます。「甘くて柔らかい」という曲がりねぎのよさや伝統を広げるためのお手伝いが学校でもできたら，そして，ふるさと太田に誇りをもてる子どもたちになってくれたらと考えています。

横沢曲がりねぎは，現在は数戸の農家しか栽培・販売していませんが，自給用で育てているご家庭はあると思います。ぜひ「横沢曲がりねぎ」をご家庭の話題にしてみてください。もし畑にあったら，実物を子どもさんに見せてあげていただきたいと思います。「先生，ぼくの家に曲がりねぎあったよ」というように，今回の３・４年生の体験活動から，地域にも話題が広がっていくことを願っています。

地域から学ぶ

３年生「わたしたちのまち大仙市」

校外へ出かけ，「地域のひと・もの・こと」から学ぶ学習が本格化してきています。25 日（火）は３年生が「FM はなび」や「はなび・アム」「ペアーレ」「大曲駅」「姫神公園」を見学してきました。バスの車窓からは土地利用の仕方について考えたり，公共施設の場所や働きについて学習を深めたりしてきました。「FM はなび」や「はなび・アム」「ペアーレ」などは，初めて足を踏み入れるという子どもも多かったようです。「話を聞くだけ」よりは，やはり「実際に目の当たりにする」「地域の方から話を聞く」「体験する」ことで確実に記憶されていきます。

地域を応援する

26 日（水）は太田分校の全校田植え競技会の応援に行ってきました。

昨年度は実施できなかったそうですが，毎年行われている学年対抗の競争です。テレビのニュースでも取り上げられているほど太田分校の特色ある活動です。

「こども園や小学生の子どもたちの応援が本当に生徒たちの力になった」とお礼の電話が次の日に届きました。

運動会の「ゴーゴーゴー」を替え歌にして，力一杯歌ってきた１・２年生です。

令和３年度　６年生が挑む
全国学力・学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，また，児童生徒の学力や学習状況の把握・分析，そして，学校における児童生徒への指導の充実や改善等に役立てるため，今年度は５月 27 日（木）に全国一斉に行われました。

本校６年生も国語と算数の問題に取り組みましたが，最後まで粘り強く頑張っている姿はとても立派でした。

新聞やネット上にも問題が公表されており，ご覧になった方はお分かりと思いますが，公式が分かればそれで OK とか，漢字が分かればそれで大丈夫とか，そういうものを超えたその先を求められています。論理的に考える力，自分の考えを説明する表現力…等々，どの学年でも授業で鍛えていく必要がありそうです。